

レジメン登録フォーマット

申請年月日		使用開始日	平成27年1月1日				
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師		化学療法委員会承認年月	平成	年	月
レジメン名	5-FU+マイトマイシン						
疾患名	肛門管がん	適応の備考					
適応分類	進行・再発						
1コース日数	28	日間	総コース数	有効な限り	コース	催吐性リスク	軽度
抗がん剤投与量・投与日 5-FU 1000mg/m ² /日 day1-4 マイトマイシン10mg/m ² day1							
治療スケジュール・投与日程（投与日は●） (day)							

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	主ルート																																	
	点滴静注	生食50mL ルートキープ用	1 本 / body	5 分	●																													
2	側管	生食100mL	1 本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	デキサト注射液6.6mg/2ml	1 本 / body	30 分	●	●	●	●																										
Rp3の主ルート 5-FUと同時開始																																		
3	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	5-FU	500 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●																										
Rp3・Rp4で、1日合計は1000mg/m ²																																		
4	主ルート	生食500mL	1 本 / body		●	●	●	●																										
	点滴静注	5-FU	500 mg / m ²	12 時間	●	●	●	●																										
Rp3・Rp4で、1日合計は1000mg/m ²																																		
5	側管	注射用水100mL	0.5 本 / body	5 分	●																													
	点滴静注	マイトマイシン	10 mg / m ²		●																													
6	側管																																	
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																													
7	主ルート																																	
	点滴静注	生食50mL	1 本 / body	5 分				●																										
8																																		
9																																		

【投与上の注意】

- ・day1のマイトマイシンは、Rp2のデキサト終了後に続けて側管から投与する。注射用水50mLを抜いて捨て、残りの50mLを溶解、希釈に使用する。
- ・5-FU、マイトマイシンの両剤とも軽度催吐性だが、初回投与時等、患者の状態によっては、day1のみ中等度催吐性に準じた制吐剤を使用することも出来る。
- ・放射線を45～50.4Gry併用する。(1.8Gry/日)
- ・放射線治療終了後は、化学療法のみを28日毎に繰り返す。